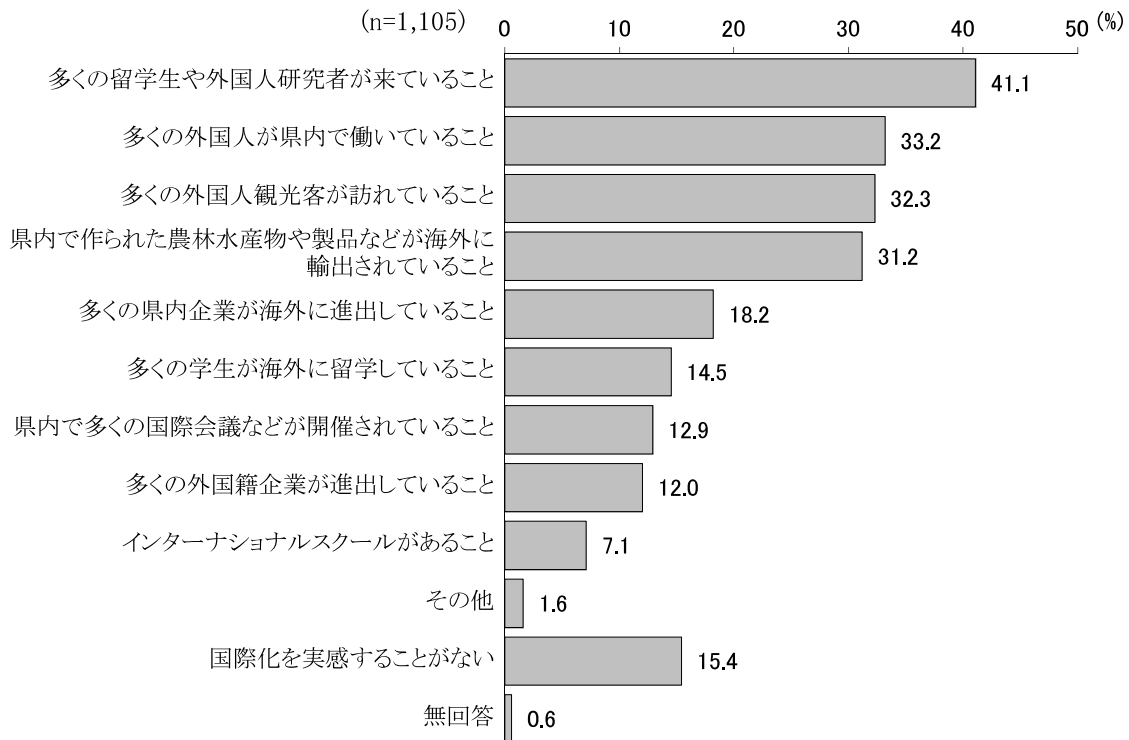


IV 国際化

1. いばらきの国際化を実感するとき

－「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」が4割超－

問9 あなたが考える県の国際化とは、どのような状況を指していますか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。



いばらきの国際化を実感するときとしては、「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」(41.1%)が4割を超えて最も高く、次いで、「多くの外国人が県内で働いていること」(33.2%)、「多くの外国人観光客が訪れていること」(32.3%)、「県内で作られた農林水産物や製品などが海外に輸出されていること」(31.2%)が3割台で続いている。

－県南で「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」が約5割－

地域別でみると、「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」は、県南(47.6%)で約5割と最も高くなっている。

－男性で「多くの外国人観光客が訪れていること」が女性よりも約6ポイント高い－

性別でみると、「多くの外国人観光客が訪れていること」は、男性(35.6%)が女性(29.5%)よりも約6ポイント高くなっている。

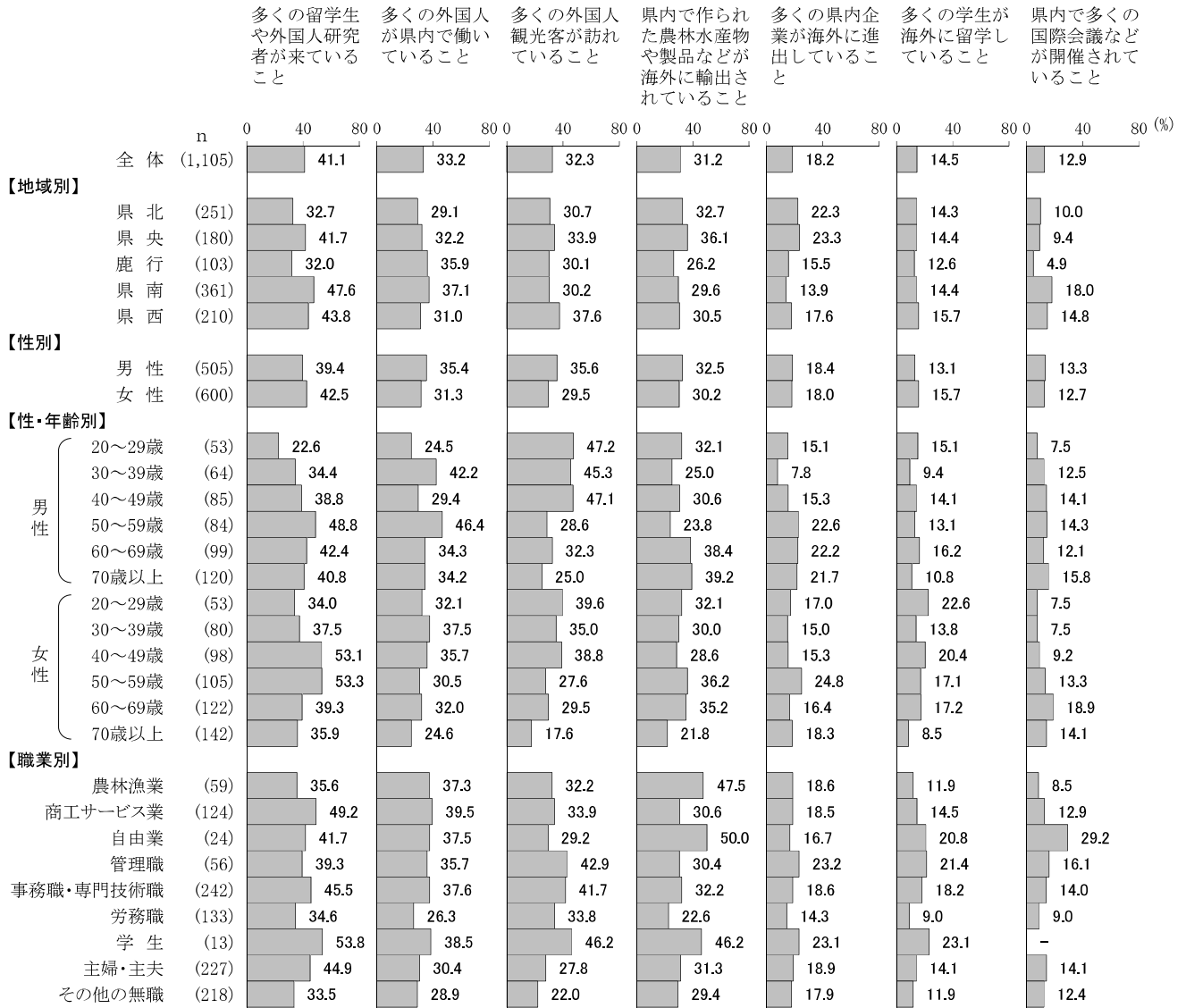
－女性の40代と50代で「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」が5割台半ば－

性・年齢別でみると、「多くの留学生や外国人研究者が来ていること」は、女性の40代(53.1%)と50代(53.3%)で5割台半ばと高くなっている。

一男性の20代から40代で「多くの外国人観光客が訪れていること」が4割台後半一

性・年齢別でみると、「多くの外国人観光客が訪れていること」は、男性の20代（47.2%）、30代（45.3%）、40代（47.1%）で4割台後半と高くなっている。

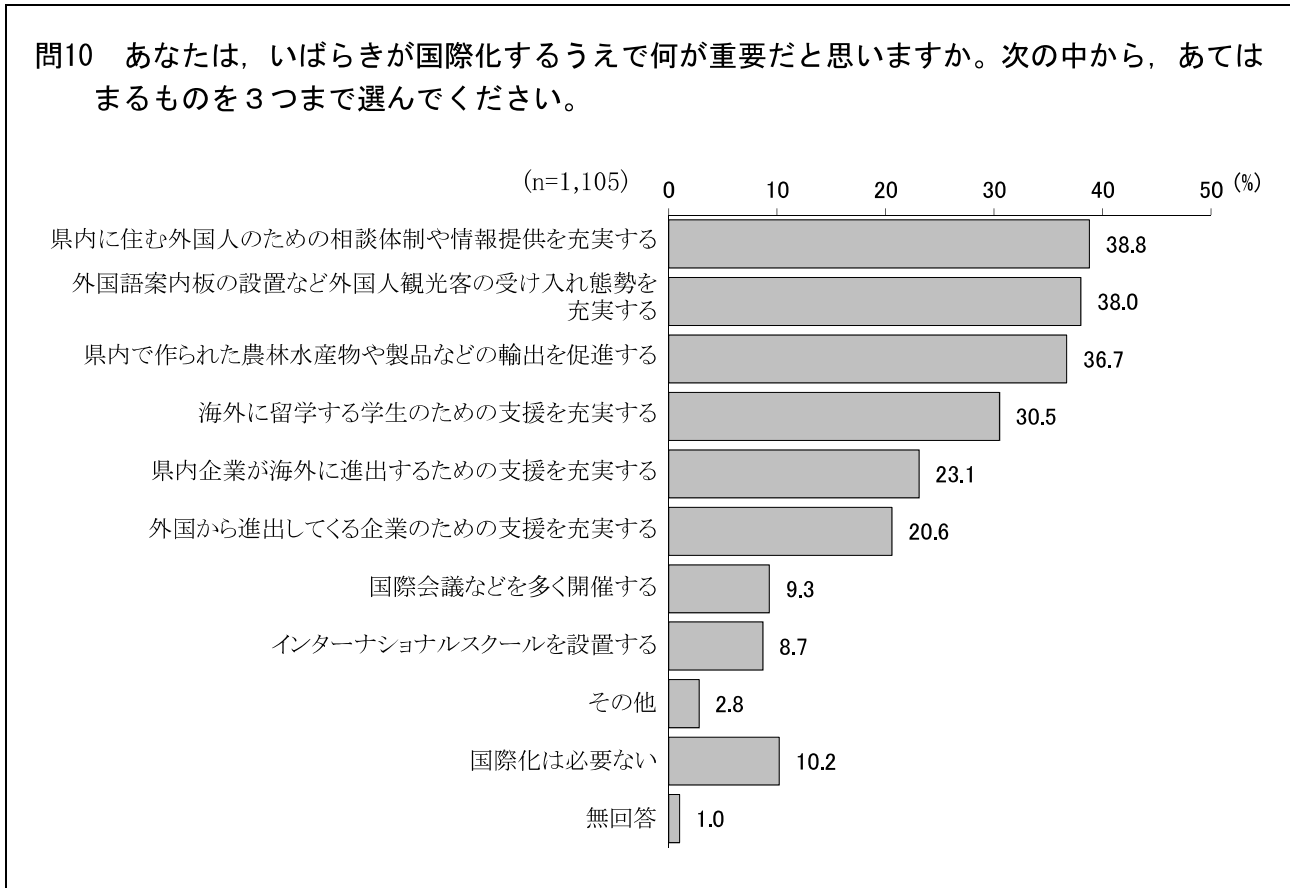
表IV 9-1 いばらきの国際化を実感するとき
(地域別、性別、性・年齢別、職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。

2. 国際化するうえで重要なこと

- －「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」と「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」が約4割－



いばらきが国際化するうえで重要なこととしては、「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」(38.8%)と「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」(38.0%)がそれぞれ約4割と高く、次いで、「県内で作られた農林水産物や製品などの輸出を促進する」(36.7%)、「海外に留学する学生のための支援を充実する」(30.5%)が3割台で続いている。

－県南で「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」が4割台半ば－

地域別でみると、「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」は、県南(44.6%)で4割台半ばと最も高くなっている。

－県西で「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」が4割台半ば－

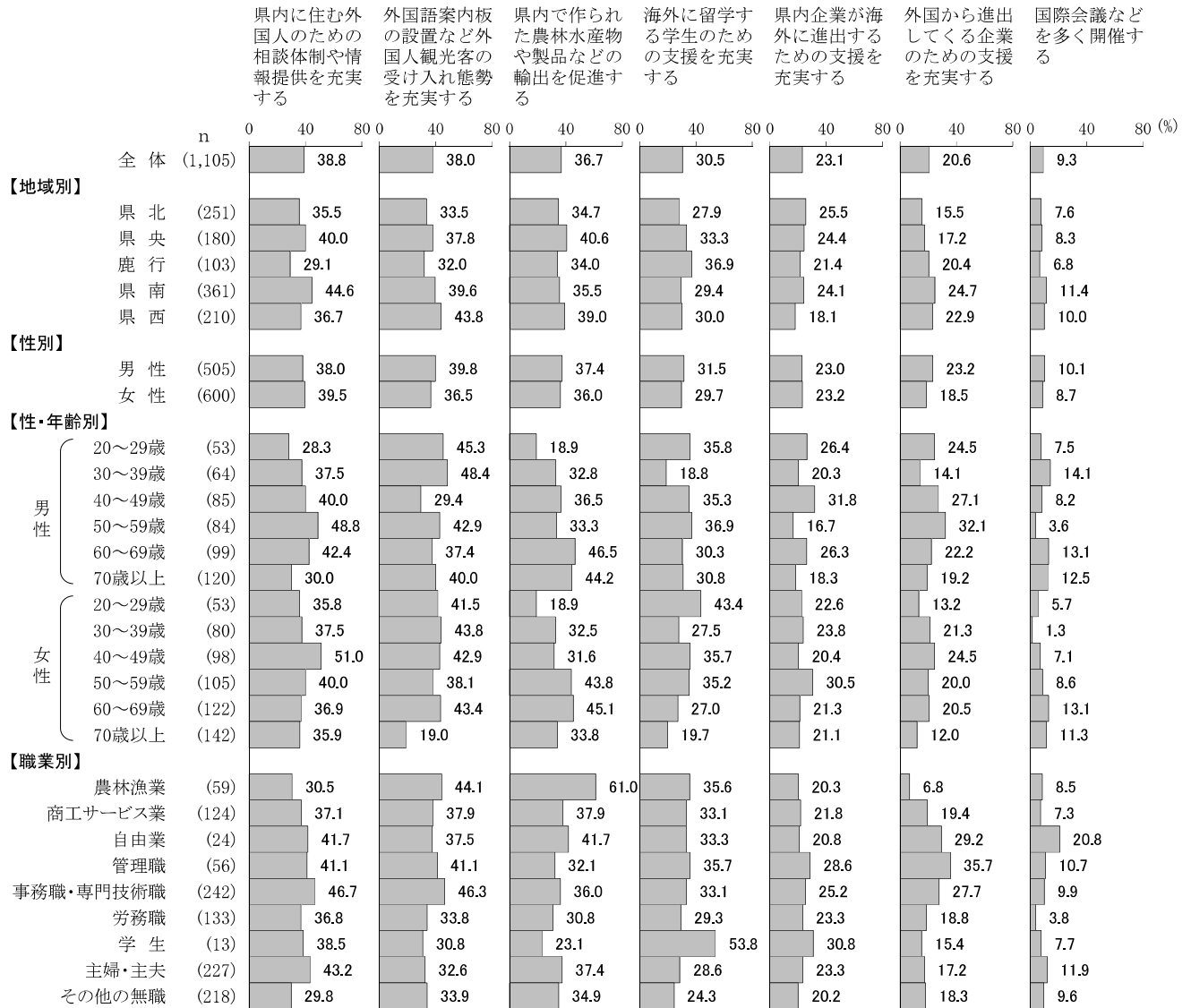
地域別でみると、「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」は、県西(43.8%)で4割台半ばと最も高くなっている。

－女性の40代で「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」が5割超－

性・年齢別でみると、「県内に住む外国人のための相談体制や情報提供を充実する」は、女性の40代(51.0%)で5割を超えて最も高く、男性の50代(48.8%)で約5割と高くなっている。

一男性の30代で「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」が約5割一
 性・年齢別でみると、「外国語案内板の設置など外国人観光客の受け入れ態勢を充実する」は、
 男性の30代（48.4%）で約5割と最も高くなっている。

図IV 10-1 国際化するうえで重要なこと
 (地域別、性別、性・年齢別、職業別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層では分析ではふれていない場合がある。